



平成30年5月14日
 寿スピリッツ株式会社
 (コード番号:2222 東証第一部)
 問合せ先 取締役経営企画部 部長 松本真司
 TEL:0859(22)7477

記載金額は、表示単位未満を切り捨て
 比率は、千円単位の金額をもとに計算

1. 業績ハイライト

平成30年3月期 通期業績

経常利益 29.5%増益、3期連続で最高益を更新
 (売上高 対前期比+14.9%、経常利益 同 +29.5%、純利益 同 +37.4%)

グループ再編効果及びブランド認知度の向上などにより、シュクレイが躍進！
売上高は、首都圏展開及びインバウンド対策の強化などの重点施策遂行により、7期連続で最高値更新

2. 通期業績(対前期比)

売上総利益率 56.9%(対前期比+0.9ポイント)／経常利益率 13.5%(同+1.5ポイント)

(単位:百万円、%)

	前期 (平成29年3月期)		当期 (平成30年3月期)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	32,536	—	37,385	—	4,849	14.9
売上総利益	18,213	56.0	21,278	56.9	3,064	16.8
販売管理費	14,366	44.2	16,266	43.5	1,899	13.2
営業利益	3,847	11.8	5,012	13.4	1,164	30.3
経常利益	3,898	12.0	5,049	13.5	1,150	29.5
親会社株主に帰属する当期純利益	2,572	7.9	3,533	9.5	961	37.4
EPS(円)	82.66		113.56		30.90	
BPS(円)	409.20		497.16		87.96	
ROE(%)	21.9		25.1		3.20	
1株当たり配当金	25.00		35.00		10.00	

(注) 詳細は、決算短信 2ページ「連結経営成績に関する定性的情報」をご参照下さい。

3. セグメント別の業績

売上高は、「シュクレイ」、「寿製菓・但馬寿」ともに初の100億円を突破
 シュクレイの営業利益は、対前期比94.3%増の1,187百万円となり、大幅増益に

(単位:百万円、%)

	売上高				営業利益		
	前期	当期	増減額	増減率	前期	当期	増減額
ケイシイシイ	10,375	11,841	1,465	14.1	1,445	1,657	211
シュクレイ	9,275	11,546	2,271	24.5	611	1,187	576
寿製菓・但馬寿	9,634	10,427	792	8.2	1,065	1,229	164
販売子会社	5,119	5,518	398	7.8	376	409	32
九十九島グループ	3,287	3,319	32	1.0	△130	△213	△82
その他	277	339	61	22.3	△75	△52	22
セグメント計	37,971	42,993	5,022	13.2	3,293	4,218	925
(調整額)	△5,434	△5,608	△173	3.2	553	793	239
合計	32,536	37,385	4,849	14.9	3,847	5,012	1,164

(注) 1. 詳細は、決算短信2ページ「連結経営成績に関する定性的情報」をご参照下さい。

2. セグメント区分の変更

平成29年4月1日付で連結子会社であります株式会社シュクレイは、連結子会社であります株式会社フランセを吸収合併いたしました。これに伴い、従来、報告セグメントとしておりました「フランセ」を当期より「シュクレイ」に統合いたしており、前期との比較は、変更後の区分方法により作成した数値を使用しております。

4. 四半期業績の推移

12四半期連続で増収・増益

(単位:百万円、%)

	29年3月期				30年3月期			
	1Q(4-6)	2Q(7-9)	3Q(10-12)	4Q(1-3)	1Q(4-6)	2Q(7-9)	3Q(10-12)	4Q(1-3)
売上高	6,724	8,076	8,983	8,751	7,919	9,299	10,327	9,838
(増減率)	21.3	23.0	28.9	16.2	17.8	15.1	15.0	12.4
営業利益	372	1,079	1,429	964	535	1,314	1,881	1,281
(増減率)	6.6	16.0	24.5	13.8	43.6	21.7	31.6	32.8
経常利益	382	1,088	1,435	991	547	1,321	1,890	1,288
(増減率)	4.1	16.0	24.0	15.0	43.1	21.4	31.7	30.0

5. 通期業績予想

平成31年3月期 通期業績予想	
売上高	40,600百万円(前期比+8.6%)
経常利益	5,850百万円(同+15.9%)
純利益	3,820百万円(同+8.1%)
引き続き、重点施策の遂行と現場力の向上を図り、過去最高益の連続更新を目指す!	

(単位:百万円、%)

		30年3月期 実績	31年3月期 予想	対前期 増減額	対前期 増減比
売上高	上期	17,219	18,600	1,380	8.0
	下期	20,166	22,000	1,833	9.1
	通期	37,385	40,600	3,214	8.6
売上総利益	上期	9,574	10,530	955	10.0
	下期	11,703	12,920	1,216	10.4
	通期	21,278	23,450	2,171	10.2
(売上総利益率)	上期	55.6	56.6	1.0	—
	下期	58.0	58.7	0.7	—
	通期	56.9	57.8	0.8	—
販売管理費	上期	7,725	8,300	574	7.4
	下期	8,540	9,350	809	9.5
	通期	16,266	17,650	1,383	8.5
(売上高販管費比率)	上期	44.9	44.6	△ 0.2	—
	下期	42.4	42.5	0.1	—
	通期	43.5	43.5	△ 0.0	—
営業利益	上期	1,849	2,230	380	20.6
	下期	3,162	3,570	407	12.9
	通期	5,012	5,800	787	15.7
経常利益	上期	1,869	2,250	380	20.3
	下期	3,179	3,600	420	13.2
	通期	5,049	5,850	800	15.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	上期	1,450	1,470	19	1.4
	下期	2,083	2,350	266	12.8
	通期	3,533	3,820	286	8.1

(注)

EPS(円)	通期	113.56	122.75
1株当たり配当金(円)	通期	35.00	35.00

設備投資額(百万円)	通期	1,948	1,700
減価償却費(百万円)	通期	1,049	1,200

<補足コメント>

(注)31年3月期上期の予想純利益が前期並みの要因は、30年3月期上期実績が繰延税金資産の評価見直しなどにより、税負担が一時的に抑えられた反動によるもの。

6. セグメント別の通期業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高				営業利益		
	30年3月期 実績	31年3月期 予想	増減額	増減率	30年3月期 実績	31年3月期 予想	増減額
ケイセイセイ	11,841	12,500	658	5.6	1,657	1,750	92
シュクレイ	11,546	13,400	1,853	16.0	1,187	1,560	372
寿製菓・但馬寿	10,427	10,430	2	0.0	1,229	1,220	△9
販売子会社	5,518	5,774	255	4.6	409	460	50
九十九島グループ	3,319	3,650	330	10.0	△213	10	223
その他	339	330	△9	△ 2.9	△52	△30	22
セグメント計	42,993	46,084	3,090	7.2	4,218	4,970	751
調整額	△5,608	△5,484	124	△ 2.2	793	830	36
合計	37,385	40,600	3,214	8.6	5,012	5,800	787

<補足コメント>

「寿製菓・但馬寿」が売上面・利益面ともに前期並みの予想の要因は、グループ全体における製造キャパシティ増大の観点から、グループ向け製造売上の一部を他のグループ製造拠点に移管させる影響によるもの。九十九島グループは、この影響なども加わり、黒字転換を予想。

以上

注意事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。